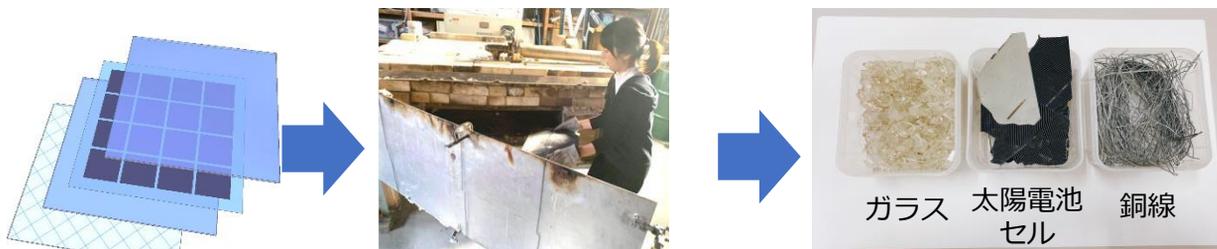


PRESS RELEASE

世界初！！“使用済ソーラーパネルのガラス”を再資源化した板ガラス「Rebornglass®」によるソーラーパネルを神戸で開催の国際フロンティア産業メッセ2024で展示

【概要】

株式会社新見ソーラーカンパニー（代表取締役社長 佐久本 秀行：以下「新見ソーラーカンパニー」）と株式会社タミヤ製作所（代表取締役 民谷 浩一：以下「タミヤ製作所」）は、2024年7月31日、両社の共同によって実現した「**再資源化したガラスReborn glass®を使用したソーラーパネル（Rebornpanel® Phase2）の開発**」について成功しました。開発した**Rebornpanel® Phase2**を、9月5日、6日に神戸で開催される国際フロンティア産業メッセ2024で公開いたします。

**タミヤ製作所製
純国産BIPV (SoR-E)****佐久本式ソーラーパネル熱分解装置
で分解 (当社にて)**

分解後の高純度マテリアル

※「SoR-E」の特徴

- ① 発電する屋根・壁になる
- ② 光を透過させることができる
- ③ 見た目(パターン)や大きさを自由にデザインできる

「建材ダイジェスト」より

<https://kenzai-digest.com/sor-e/>**Rebornpanel® Phase2完成**
(タミヤ製作所にて)**Rebornglass®による板ガラス**

【展示会場とブース場所】

国際フロンティア産業メッセ <https://www.kobemesse.com/>

日時：2024年9月5日（木）・6（金）

10:00～17:00

場所：神戸国際展示場

新見ソーラーカンパニーブース：B-09（2号館）

<https://www.kobemesse.com/exhibit/18438>

問い合わせ先

広報担当 山田庸子（やまだようこ）
住所：〒718-0002 岡山県新見市下熊谷1545-3
TEL：0867-88-8217（代表）
FAX：086-899-6477
MAIL：ra-info@niimi-solar.com

会社概要

株式会社新見ソーラーカンパニー
代表取締役社長 佐久本 秀行
設立：2009年（平成21年）8月25日
資本金：4百万円
事業内容：ソーラーシステムおよびソーラー製品開発販売
佐久本式ソーラーパネル熱分解装置開発

【日本外国特派員協会での記者会見の様子】

- 2023年9月7日に、日本外国特派員協会にて、当社とタミヤ製作所と（一財）PVリボーン協会の3者で、「Rebornpanel@1Phase1」の世界で初めて製造に成功したことについて、記者会見しました。（記者会見の様子：<https://x.gd/CN6UA>）



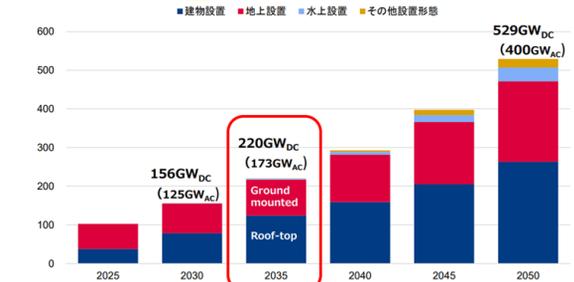
日本外国特派員協会での記者会見の様子

【背景】

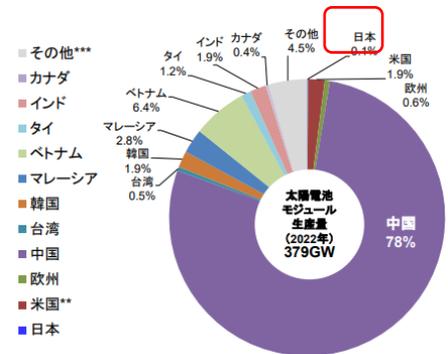
- 2050年カーボンニュートラル実現をめざし、2050年度までに529GWの太陽光発電（2022年度末導入料87GWの約6倍）の導入が目標とされています。「PV OUTLOOK 2050」（JPEA 2024年）
- 太陽光発電の導入にあがり、壁面などにも取り付け可能な「建材一体型ソーラーパネル（BIPB）」の市場開拓が求められています。（第64回再エネ大量導入次世代NW小委員会 資料より 2024年）
- 今後、ソーラーパネルは2030年代から廃棄が急増、2036年には年間17万～28万トンにのぼると推計されています。「太陽光発電リサイクルに関する国内動向調査、分布調査及び排出量予測」（NEDO、(株)三菱総合研究所、2019年）
- 使用済ソーラーパネルのリサイクル施設は増加していますが、そのほとんどが埋め立て廃棄されており、再資源化まで至っていないのが実情で、埋立処分場の残余容量も、2030年代半ばにはひっ迫すると予測されており、不法投棄が心配されます。（環境省「産業廃棄物行政組織等調査報告書」より）
- 一方で、世界で製造されているソーラーパネルは中国製が大多数(78%)を占め、国産ソーラーパネルはわずか0.1%しかありません。（(株)資源総合システム調べ（一部推定、2023年7月現在）より）
- 埋立に頼らないソーラーパネルの国産化に向けて、「ソーラーパネルのサーキュラーエコノミー」の実現が求められています。

導入見通し（累計）の分析結果

※導入の単位：GW（千キロワット＝100万kW）、GW_{dc}は直流出力（太陽電池モジュールの合計出力）

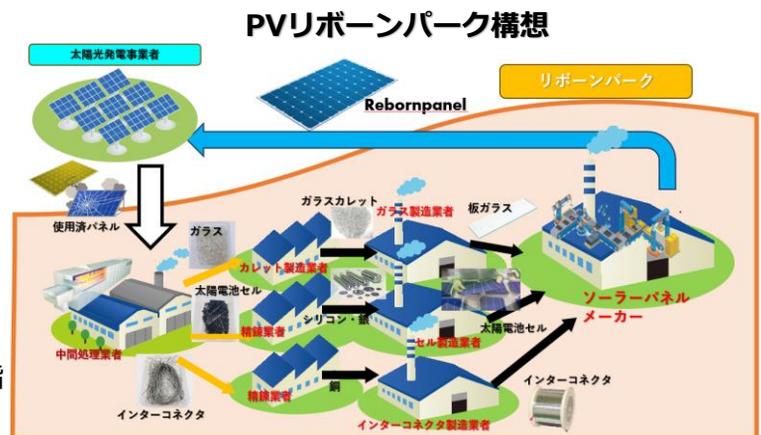


（一社）太陽光発電協会「PV OUTLOOK 2050」より



【今後の方針】

- 当社は、世界で初めて燃焼なく再資源化できる「佐久本式ソーラーパネル熱分解装置」を全国に広め、2028年には、使用済ソーラーパネルを「100%完全リサイクル」できるPVリボーンパークを国内に設立したいと考えています。
- 当社は、株式会社タミヤ製作所様と共同で研究開発・技術開発を進め、2028年には、Rebornpanel@の美用化・量産化による国産ソーラーパネル市場の拡大を目指していきたくと考えています。



問い合わせ先

広報担当 山田庸子（やまだようこ）
 住所：〒718-0002 岡山県新見市下熊谷1545-3
 TEL：0867-88-8217（代表）
 FAX：086-899-6477
 MAIL：ra-info@niimi-solar.com

会社概要

株式会社新見ソーラーカンパニー
 代表取締役社長 佐久本 秀行
 設立：2009年（平成21年）8月25日
 資本金：4百万円
 事業内容：ソーラーシステムおよびソーラー製品開発販売
 佐久本式ソーラーパネル熱分解装置開発

【株式会社タミヤ製作所 ソーラー事業部チーフ 民谷 昌浩 (たみや まさひろ) 様の話】



<今回の取り組みのキッカケ・動機>

タミヤ製作所では20年前からオーダーメイド太陽光パネルの製造を行ってきております。機械も導入のたびに大きくなり、現在は2m×4mのものまで製作することができるようになりました。そして、すべての太陽光パネルがオーダーメイドのため、製作に失敗するとその太陽光パネルは次に使うことはできず、破棄されてきました。

『太陽光パネルの大量廃棄時代がくるというのはわかっていましたし、パネルメーカーとして何かをしなければならない!』というのは理解していましたが、「製作の際に失敗したモジュールをただ捨てるというのは、とてももったいない。これを何とかできないだろうか?」という目の前の問題の方が正直、大きかったです。そういったことから、太陽光パネルのリサイクルにも少なからず興味はあり、調べたりもしていました。

そんな中、佐久本社長様より弊社へ直接お問い合わせをいただきました。実はお問い合わせをいただくより前から、リサイクルについて調べていた時に見つけた「佐久本式」は他の装置とは違っていたので印象に残っておりました。このため、今回の取り組みには、即答に近い形でご協力することにしました。

<苦労した点、創意工夫した点、どう乗り越えたか>

パネルの製造につきましては今までの経験と実績がありましたので、とくに悩むことはありませんでしたが、「佐久本式」を通過したガラスやセルの取り扱いは苦労というより心配した点でした。普段は当たり前のように取り扱っているパネル材料ですが、「佐久本式」を通過したことでどう変わったのか? 普段と同じように取り扱えるのか? ということには、経験も実績もありませんので普段よりもいっそう慎重に作業いたしました。結果的には、普段と同様に作業することができました。

<今後の新見ソーラーカンパニーとの取り組み>

オーダーメイドで太陽光パネルを作るということは、お客様からの様々なニーズに対していかに対応できるか? という守備範囲の広さが大切です。リボーンパネルの製作に成功したというのがゴールではなく、次のステップへのスタートと考えております。これからの道のりにある数々の問題に対して「タミヤ製作所に言ってみてはどうだろうか?」と思っただけのよう、取り組んでいきたいと考えております。



株式会社タミヤ製作所本社工場

(ご参考:タミヤ製作所様の沿革・実績) <https://sor-e.com/>

- ・昭和39年、タミヤ製作所設立。アルミサッシの製造、施工、販売開始
- ・昭和58年、建築用板ガラスのスパッタリング装置をドイツより導入(日本初)
- ・昭和60年、スパッタリング法による高性能熱線反射ガラス、昭和61年、合わせガラスの製造、販売開始
- ・平成14年、業界でも珍しい建材一体型太陽電池製造を開始、平成15年、オーダーメイド太陽電池製造



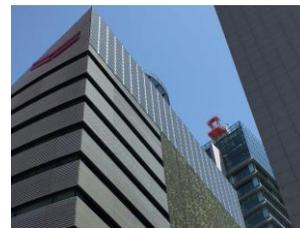
大東文化大学



二子玉川駅



愛知万博



ヤンマー本社ビル

問い合わせ先

広報担当 山田庸子(やまだようこ)
住所: 〒718-0002 岡山県新見市下熊谷1545-3
TEL: 0867-88-8217 (代表)
FAX: 086-899-6477
MAIL: ra-info@niimi-solar.com

会社概要

株式会社新見ソーラーカンパニー
代表取締役社長 佐久本 秀行
設立: 2009年(平成21年)8月25日
資本金: 4百万円
事業内容: ソーラーシステムおよびソーラー製品開発販売
佐久本式ソーラーパネル熱分解装置開発

